

優秀賞

IBM iのカレンダーを基準に 他のシステムを稼働

福島 利昭 様

株式会社ランドコンピュータ
代表取締役



株式会社ランドコンピュータ
<http://www.landcomp.co.jp>

高校、大学などのコンピュータ教室で使われる「授業支援システム」の設計、開発、販売を行っており、学校等の教育関連施設に対して5000件以上の納入実績がある。業務ソリューションに必要なソフトウェア開発と、画像・音声処理などの機器製造をトータルで行っている。

業務課題

IBM i以外にもサーバー類があるが、会社の休日・祝日も電源が入っている状態になっており、無駄になっている。また、無人環境での作動状態で、セキュリティ上も望ましくない。

技術課題

IBM iにはカレンダー機能があり、休日や会社の休日を登録してある。このデータを利用して、他のサーバー類をWakeOnLANで動作させることはできないか。

技術課題の解決策

ミガロ・テクニカルサポートよりアドバイスを受け、IBM iの次回起動日、起動時刻を取得できるようになった。そのデータを基に他のサーバー類の電源を管理することができた。Delphiの標準にはないDelphi/400コンポーネントを使

用した効果により、シンプルなコーディングを実現できた。【図1】【図2】

業務課題解決と効果

常時稼働サーバーからWakeOnLANの packets を投げるプログラムを作成。休日は、IBM iも含めサーバー類の電源が勝手に入ることはなくなり、電気代の節約とセキュリティの改善を実現した。

M

図1 システム構成図

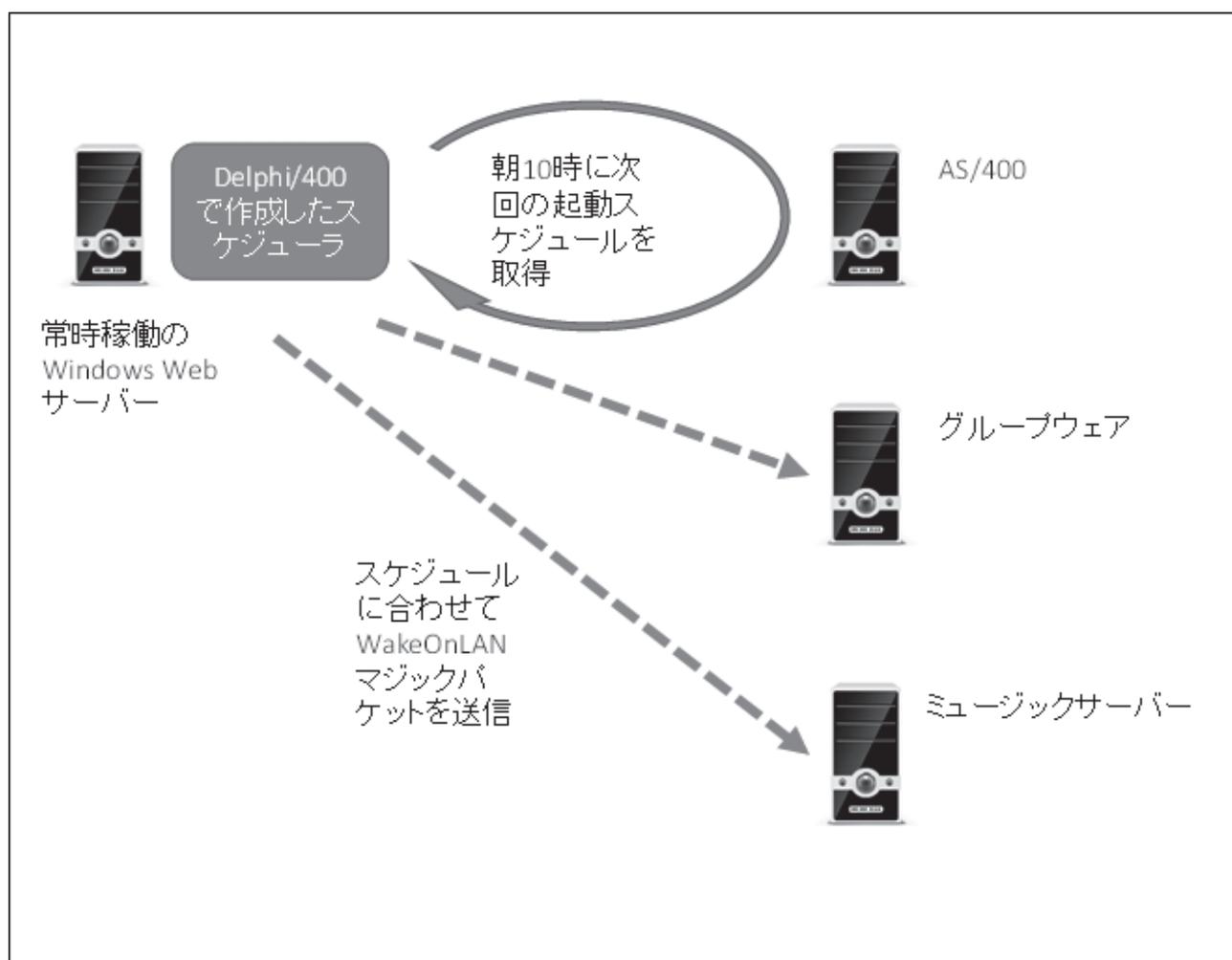


図2 ソースコードサンプル

Delphi/400のcmd400コンポーネントで下記のコマンドを実行する
(ミガロより受領したサンプルソースコード)

```
Cmd400.CommandLine.Text := 'RTVSYVAL SYSVAL(QIPLDATTIM) RTNVAR(&P.1);  
Cmd400.Execute;
```

```
Edit1.Text := Copy(Cmd400.Value[0], 0, 6);  
Edit2.Text := Copy(Cmd400.Value[0], 11, 6);
```

